

日本循環器学会 会 告

Contents

- 4** 日本循環器学会会員の皆さまへのお知らせ(事務局より)
- 5** 第85回日本循環器学会学術集会(JCS together with WCC 2021)
 - 開催概要
 - 事前参加登録のお知らせ
 - プレナリーセッション、シンポジウム開催要領
 - 一般演題採否について
 - 宿泊のご案内
 - 関連会合開催申し込みについてのご案内
- 20** 2020年度循環器疾患診療実態調査(JROAD) データ利用研究公募要領
- 22** 循環器専門医制度
 - 2021年度認定循環器専門医研修・研修関連施設の申請について
 - 2021年度日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について
 - 2021年度循環器専門医資格認定更新
 - 循環器専門医研修単位登録受付新システムについて
 - 学術集会・地方会での専門医研修単位登録について／専門医認定更新の手続きについて
 - 「循環器専門医カード」再発行のご案内／循環器専門医カード再発行申請書
- 31** 地方会・関連学会・研究会情報
 - 日本循環器学会地方会情報
 - 海外学会情報
 - 研究助成
- 33** ACLS 講習会情報
- 35** 2020年度コメディカルセミナー Web開催のお知らせ
- 36** 教育映像教材販売のご案内
- 42** 事務局からのお知らせ
 - 登録事項変更届

2020 No.4

頻脈性心房細動治療に
テープ剤という選択肢。



経皮吸収型・ β_1 遮断剤 薬価基準収載

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

β ビソノテープ[®] 2mg・4mg・8mg
(ビソプロロール・テープ剤)
Bisono tape 2mg・4mg・8mg

ビソノテープの特性

- 1 本態性高血圧症、頻脈性心房細動治療薬※にテープ剤という、新たな選択肢。
- 2 24時間にわたり降圧効果と心拍数調節効果を示します。
- 3 頻脈性心房細動治療の用量調節を可能にするため、2mgを追加。
- 4 汗をかくてもはがれにくい製剤に改良しました。
- 5 本態性高血圧症（軽症～中等症）承認時における副作用は789例中233例（29.5%）に認められ、主なものは適用部位そう痒感56例（7.1%）、適用部位皮膚炎29例（3.7%）、適用部位紅斑17例（2.2%）等でした。また、主な臨床検査値異常変動は、血中トリグリセリド増加20例（2.5%）、ALT（GPT）の上昇13例（1.6%）、血中尿酸増加12例（1.5%）、好酸球百分率増加12例（1.5%）等でした。頻脈性心房細動承認時における副作用は247例中43例（17.4%）に認められ、主なものは適用部位皮膚炎9例（3.6%）、適用部位そう痒感6例（2.4%）、心不全3例（1.2%）等でした。また、臨床検査値異常変動は3例（1.2%）であり、肝機能検査値上昇2例（0.8%）、血小板数減少1例（0.4%）でした。重大な副作用として心不全（0.6%）、完全房室ブロック、高度徐脈、洞不全症候群（いずれも頻度不明）が報告されています。

※：ビソノテープ2mgの効能・効果：頻脈性心房細動 ビソノテープ4mg・8mgの効能・効果：本態性高血圧症（軽症～中等症）、頻脈性心房細動

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】（抜粋）

1. 高度の徐脈（著しい洞性徐脈）、房室ブロック（Ⅱ、Ⅲ度）、洞房ブロック、洞不全症候群のある患者
2. 糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシスのある患者
3. 心原性ショックのある患者
4. 肺高血圧による右心不全のある患者
5. 強心薬又は血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全患者
6. 非代償性の心不全患者
7. 重度の末梢循環障害のある患者（壊疽等）
8. 未治療の褐色細胞腫の患者
9. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
10. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効能・効果】 1. 本態性高血圧症（軽症～中等症） 2. 頻脈性心房細動（ビソノテープ2mgの効能・効果は頻脈性心房細動のみ）

【用法・用量】 1. 本態性高血圧症（軽症～中等症） 通常、成人にはビソプロロールとして8mgを1日1回、胸部、上腕部又は背部のいずれかに貼付し、貼付後24時間ごとに貼りかえる。なお、年齢、症状により1日1回4mgから投与を開始し、1日最大投与量は8mgとする。 2. 頻脈性心房細動 通常、成人にはビソプロロールとして1日1回4mgか

ら投与開始し、効果が不十分な場合には1日1回8mgに増量する。本剤は胸部、上腕部又は背部のいずれかに貼付し、貼付後24時間ごとに貼りかえる。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日最大投与量は8mgとする。

【用法・用量に関連する使用上の注意】（1）褐色細胞腫の患者では、本剤の単独投与により急激に血圧が上昇することがあるので、 α 遮断剤で初期治療を行った後に本剤を投与し、常に α 遮断剤を併用すること。（2）腎機能障害のある患者では、本剤の血中濃度が上昇するおそれがあるため低用量から投与を開始することを考慮すること。〔薬物動態〕の項参照。（3）頻脈性心房細動を合併する本態性高血圧症の患者に投与する場合、頻脈性心房細動の用法・用量は1日1回4mgから開始することに留意した上で、各疾患の指標となる血圧や心拍数、症状等に応じ、開始用量を設定すること。

【使用上の注意】（抜粋） 1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）（1）気管支喘息、気管支痙攣のおそれのある患者（2）うっ血性心不全のおそれのある患者（3）特発性低血糖症、コントロール不十分な糖尿病、長期間絶食状態の患者（4）甲状腺中毒症の患者（5）腎機能障害のある患者（6）重篤な肝機能障害のある患者（7）末梢循環障害のある患者（レイノー症候群、間欠性跛行症等）（8）徐脈、房室ブロック（Ⅰ度）のある患者（9）過度に血圧の低い患者（10）異型狭心症の患者（11）乾癬の患者又は乾癬の既往のある患者（12）高齢者 2. 重要な基本的注意（1）投与が長期にわたる場合は、心機能検査（脈拍、血圧、心電図、X線等）を定期的に行うこと。徐脈又は低血圧の症状があらわれた場合には減量又は投与を中止すること。また、必要に応じアトロピンを使用すること。なお、肝機能、腎機能、血液像等に注意すること。（2）類似化合物（プロプラノロール塩酸塩）使用中の狭心症患者で急に投与を中止したとき、症状が悪化したり、心筋梗塞を起こした症例が報告されているので、休薬を要する場合は徐々に減量し、観察を十分に行うこと。また、患者に医師の指示なしに使用を中止しないよう注意すること。特に高齢者においては同様の注意を要すること。（3）甲状腺中毒症の患者では急に投与を中止すると、症状が悪化することがあるので、休薬を要する場合には徐々に減量し、観察を十分に行うこと。（4）手術前48時間は投与しないことが望ましい。（5）めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者（特に投与初期）には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。（6）心不全を合併する患者では本剤投与により心不全の症状を悪化させる可能性があるため、心機能検査を行う等、観察を十分に行うこと。（7）本剤の貼付により皮膚症状を起こすことがあるので、本剤の使用が適切であるか慎重に判断すること。また、本剤の貼付に際しては貼付部位を毎回変更すること。皮膚症状があらわれた場合には、ステロイド軟膏等を投与するか、本剤を投与中止するなど適切な処置を行うこと。 3. 相互作用 併用注意（併用に注意すること） 交感神経系に対し抑制的に作用する薬剤（レセルピン等）、血糖降下剤（インスリン製剤、トルブタミド等）、Ca拮抗剤（ベパミル塩酸塩、ジルチアゼム塩酸塩等）、ジギタリス製剤（ジゴキシン、メチルジゴキシン）、クロニジン塩酸塩、アナベズ酢酸塩、クラスⅠ抗不整脈剤（ジソピラミドリン酸塩、プロカイナムド塩酸塩、アジマリン等）、クラスⅢ抗不整脈剤（アミオダロン塩酸塩）、非ステロイド性抗炎症剤（インドメタシン等）、降圧作用を有する薬剤（降圧剤、硝酸剤）、フィンゴリモド塩酸塩 4. 副作用 本態性高血圧症 臨床試験（承認時まで）：総症例数789例中、副作用が報告されたのは233例（29.5%）であり、その主なものは、適用部位そう痒感56例（7.1%）、適用部位皮膚炎29例（3.7%）、適用部位紅斑17例（2.2%）等であった。また、主な臨床検査値異常変動は、血中トリグリセリド増加20例（2.5%）、ALT（GPT）の上昇13例（1.6%）、血中尿酸増加12例（1.5%）、好酸球百分率増加12例（1.5%）等であった。頻脈性心房細動 臨床試験（承認時まで）：総症例数247例中、副作用が報告されたのは43例（17.4%）であり、その主なものは、適用部位皮膚炎9例（3.6%）、適用部位そう痒感6例（2.4%）、心不全3例（1.2%）等であった。また、臨床検査値異常変動が報告されたのは3例（1.2%）であり、肝機能検査値上昇2例（0.8%）、血小板数減少1例（0.4%）であった。（1）重大な副作用 心不全（0.6%）、完全房室ブロック、高度徐脈、洞不全症候群（いずれも頻度不明）があらわれることがあるので、心機能検査を定期的に行い、このような副作用が発現した場合には減量又は投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。

■その他の使用上の注意等詳細は、製品添付文書をご参照下さい。

トーアイヨー
製造販売

astellas
販売 アステラス製薬

2020年1月作成
(BTA41071)

最前線で闘っている
医療従事者のみなさまに
感謝いたします。



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社

2020年8月作成

日本循環器学会会員の皆さまへのお知らせ(事務局より)

謹啓 国内の新型コロナウイルス感染は一向に沈静化する気配はありません。一方、経済活動は徐々に復活へと舵を切り始めております。世界に目を向けますとアメリカ、ブラジル、インド、フランス等の国々では日本ではあり得ない程の新規感染者が出ていると伺っております。経済の復活と新型コロナウイルス沈静化という、相反する命題に向かって世界中が進んでいく中、一刻も早いワクチンや有用な薬剤開発が待たれます。

さて、前々回、前回の会告でも申し述べました通り、日本循環器学会でも予定されていた学術集会、研修会、会議、試験等が中止、順延、開催方法の変更となりました。その一部に関しましてはこの会告でもお知らせしております。また、本誌に開催予定を掲載させていただいている行事等も今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、中止、日程や開催方法の変更があるかもしれません。日本循環器学会事務局では行事の中止、各種変更があった場合、可及的速やかにメール、ホームページ、会告等の各種手段を講じ、会員の皆様にお知らせしていきます。

多くのスケジュールが変更を余儀なくされ、予定が立てにくい昨今ではありますが、事務局といたしましては早く正確な情報を先生方にお届けすることをお約束いたします。会員の先生方に一日も早い日常が戻りますことを切に願っております。

謹白

一般社団法人日本循環器学会
事務局長 田渕 一郎

第85回日本循環器学会学術集会 (JCS together with WCC 2021)

開催概要

会 期：2021年3月26日(金)～28日(日)
JCS2021 会 長：斎藤 能彦 (奈良県立医科大学 循環器内科学教室)
WHF President：Karen Sliwa, MD, PhD
会 場：パシフィコ横浜

メインテーマ：Next Stage —Future of Medicine & Community—

お問い合わせ先

第85回日本循環器学会学術集会 運営準備室

Tel：03-3263-2359(平日10：00～17：00) Fax：03-3263-8693

E-mail：info-jcs2021@c-linkage.co.jp

<https://www.c-linkage.co.jp/jcs2021>



第85回日本循環器学会
学術集会HP

1. 一般演題(口述, ポスター, Featured Research Session)

2. 美甘レクチャー(日本心臓財団美甘基金)

Eric Olson (The University of Texas Southwestern Medical Center)

3. 真下記念講演

本 席 佑 (京都大学高等研究院)

4. WCC Special Lecture

山中 伸弥 (京都大学 iPS 細胞研究所)

5. 会長講演

6. 海外招聘演者(2020年10月30日現在)

Charalambos Antoniades	(Radcliffe Department of Medicine University of Oxford, UK)
Hossein Ardehali	(Center for Molecular Cardiology Feinberg School of Medicine Northwestern University, USA)
Christer Betsholtz	(Uppsala University, Sweden)
Ron Blankstein	(Cardiovascular Division Brigham and Women's Hospital, USA)
Rudolf de Boer	(Faculty of Medical Sciences University of Groningen, The Netherlands)
Elijah Bolotin	(PharmaIN Corporation, USA)
Barry A. Borlaug	(Cardiovascular Medicine Department Mayo Clinic, USA)
Biykem Bozkurt	(Baylor College of Medicine, USA)
John C. Burnett, Jr.	(Mayo Clinic, USA)
Matteo Cameli	(Department of Medical Biotechnologies, Division of Cardiology University of Siena, Italy)
Davide Francesco Capodanno	(Cardiology University of Catania, A.O.U. Policlinico, Italy)
Lucie Carrier	(Institute of Experimental Pharmacology and Toxicology University Medical Center Hamburg-Eppendorf, Germany)
Jaw-Wen Chen	(National Yang-Ming University School of Medicine, Taiwan)

Goo Yeong Cho	(Department of Cardiology Seoul National University Bundang Hospital, Korea)
Rodolfo Citro	(Azienda Ospedaliera Universitaria San Giovanni di Dio e Ruggi d'Aragona, Italy)
Justin E. Davies	(Faculty of Medicine National Heart & Lung Institute Imperial College London, UK)
Lea Delbridge	(Department of Physiology School of Biomedical Sciences University of Melbourne, Australia)
Rahul Deo	(Division of Cardiovascular Medicine Brigham and Women's Hospital, USA)
Jonathan A. Drezner	(Department of Family Medicine Director of the Center for Sports Cardiology University of Washington, UK)
Thomas Eschenhagen	(Institute of Experimental Pharmacology and Toxicology University Medical Center Hamburg-Eppendorf, Germany)
William Fearon	(Stanford University Medical Center, USA)
Paul A. Friedman	(Department of Cardiovascular Medicine Mayo Clinic, USA)
Henk L. Granzier	(Cellular and Molecular Medicine University of Arizona, USA)
Jongwon Ha	(Yonsei University College of Medicine, Korea)
Derek John Hausenloy	(Duke-NUS Medical School, Singapore)
García-García Héctor	(Washington Hospital Center, USA)
Takahiro Higuchi	(University of Würzburg, Germany)
Joseph Hill	(University of Texas Southwestern Medical Center, USA)
Carolyn Yung Ho	(Division of Cardiovascular Medicine Brigham and Women's Hospital, USA)
Myeong-Ki Hong	(Department of Internal Medicine Yonsei University College of Medicine, Korea)
Marc Humbert	(University of Paris-Saclay/Pneumology Department Bicêtre Hospital, France)
Eric Isserbacher	(Massachusetts General Hospital Cardiology Division, USA)
Ik Kyung Jang	(Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, USA)
David Jenkins	(Royal Papworth Hospital, UK)
Navin K. Kapur	(Tufts University School of Medicine, UK)
David A. Kass	(Center for Molecular Cardiobiology Johns Hopkins University, USA)
Iwanari Kawamura	(Icahn School of Medicine Mount Sinai Hospital, USA)
Walter J. Koch	(Center for Translational Medicine Lewis Katz School of Medicine Temple University, USA)
Mikhail Kosiborod	(Saint Luke's Mid America Heart Institute, USA)
Michaela Kuhn	(University of Würzburg, Germany)
Raymond Y. Kwong	(Brigham and Women's Hospital, Cardiology Division Harvard Medical School, USA)
Carolyn Lam	(Department of Cardiology National Heart Centre Singapore (NHCS), Singapore)
Thorsten Lewalter	(Peter Osypka Heart Center Hospital Munich South, Germany)
JoAnn Lindenfeld	(Heart Failure and Transplantation Section Vanderbilt Heart and Vascular Institute, USA)
Wolfgang A. Linke	(Institute of Physiology II University of Münster, Germany)
Gary Lopaschuk	(University of Alberta, Canada)
Alexander Lyon	(Imperial College London, UK)
Laurent Macle	(Montreal Heart Institute, Canada)
Akiko Maehara	(Columbia University, Cardiovascular Research Foundation, USA)

Felix Mahfoud	(Department of Cardiology Saarland University Medical Center, Germany)
Mary McDermott	(Feinberg School of Medicine, Northwestern Medical Group, USA)
John McMurray	(The University of Glasgow BHF Cardiovascular Research, UK)
Elizabeth Murphy	(Laboratory of Cardiac Physiology National Heart, Lung, and Blood Institute, USA)
Charles E. Murry	(University of Washington, USA)
Mamoo Nakamura	(Cedars-Sinai Medical Center, USA)
Robert Neumar	(University of Michigan, USA)
Evangelos K. Oikonomou	(Radcliffe Department of Medicine University of Oxford, UK)
Eric Olson	(UT Southwestern Medical Center, USA)
Kinya Otsu	(School of Cardiovascular Medicine & Sciences King's College London, UK)
Catherine M. Otto	(Division of Cardiology University of Washington, USA)
Jin Joo Park	(Seoul National University Bundang Hospital, Korea)
Philippe Pibarot	(Quebec Heart and Lung Institute Laval University, Canada)
Burkert Pieske	(Medical Department, Division of Cardiology CVK Charité –Universitätsmedizin Berlin, Germany)
Claudio Rapezzi	(Istituto di Cardiologia Policlinico S.Orsola-Malpighi, Italy)
Paul Ridker	(Medicine, Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA)
Junichi Sadoshima	(Department of Cell Biology and Molecular Medicine Rutgers New Jersey Medical School, USA)
Thomas N. Sato	(Advanced Telecommunications Research Institute International The Thomas N. Sato Bio-MEC-X Laboratories, Japan)
Gabriele G. Schiattarella	(University of Texas Southwestern Medical Center, USA)
Jonathan Seidman	(Department of Genetics Harvard Medical School, USA)
Christine Seidman	(Harvard Medical School, USA)
Sanjiv J. Shah	(Northwestern University Feinberg School of Medicine, USA)
Chi Young Shim	(Division of Cardiology, Department of Internal Medicine Yonsei University Hospital, Korea)
Scott D. Solomon	(Harvard Medical School, USA)
Marc Steven Sabatine	(Division of Cardiovascular Medicine Brigham and Women's Hospital, USA)
David Taggart	(Cardiovascular surgery University of Oxford John Radcliffe Hospital, UK)
Christian Templin	(Cardiovascular Center University Hospital Zurich, Switzerland)
Geoff Tison	(Division of Cardiology The University of California San Francisco, USA)
Jasper Tromp	(Duke-NUS Medical School, Singapore)
Nir Uriel	(CUMC/Presbyterian Hospital and Vanderbilt Clinic, USA)
Kenneth Walsh	(University of Virginia School of Medicine, USA)
Arthur A.M. Wilde	(Academic Medical Center University of Amsterdam, The Netherlands)
Stephan Windecker	(Department of Cardiology Bern University Hospital (Inselspital), Switzerland)
Joseph Woo	(Department of Cardiothoracic Surgery Stanford University, USA)
Rui-Ping Xiao	(Institute of Molecular Medicine Peking University, China)
Khung Keong Yeo	(National Heart Centre Singapore, Singapore)

7. プレナリーセッション

- (1) Big Data による新たな evidence 〈日本語〉
座長：宮本 恵宏 (国立循環器病研究センター)
康永 秀生 (東京大学 公共健康医学専攻臨床疫学・経済学)
- (2) 大動脈解離の新しい知見 〈日本語〉
座長：荻野 均 (東京医科大学 心臓血管外科)
吉野 秀朗 (医療法人財団慈生会野村病院／杏林大学 医学部循環器内科)
- (3) Frontiers in Diagnosis and Treatment of Specific Aortic Diseases 〈英語〉
座長：磯部 光章 (榊原記念病院)
Eric Isserbacher (Massachusetts General Hospital)
- (4) New drugs for chronic heart failure 〈英語〉
座長：筒井 裕之 (九州大学 循環器内科学)
John McMurray (The University of Glasgow BHF Cardiovascular Research)
- (5) Genomic medicine approach to cardiomyopathy 〈英語〉
座長：井手 友美 (九州大学大学院 医学研究院循環器内科学)
Christine Seidman (Harvard Medical School)
- (6) Novel Aspects of Evaluating Multiple Organs in Heart Failure Management 〈英語〉
座長：猪又 孝元 (北里大学 北里研究所病院循環器内科)
- (7) 循環器画像診断における AI 活用の最前線 〈日本語〉
座長：佐田 政隆 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部循環器内科学分野)
陣崎 雅弘 (慶應義塾大学 医学部放射線科学教室)
- (8) Strategic treatment for Heart Valve Disease Catheter interventional treatment vs Less invasive cardiac surgery 〈英語〉
座長：澤 芳樹 (大阪大学 心臓血管外科学)
Joseph Woo (Department of Cardiothoracic Surgery Stanford University)
- (9) Renal denervation Up-to-Date: Basic and clinical evidence 〈英語〉
座長：荻尾 七臣 (自治医科大学 循環器内科学)
Felix Mahfoud (Department of Cardiology Saarland University Medical Center)
- (10) Diabetes and Cardiorenal syndrome 〈英語〉
座長：室原 豊明 (名古屋大学 循環器内科)
John McMurray (The University of Glasgow BHF Cardiovascular Research)
- (11) Revisiting School Cardiac Screening 〈英語〉
座長：三谷 義英 (三重大学大学院 医学系研究科小児科学)
Victoria L. Vetter (The Children's Hospital of Philadelphia)
- (12) Cardiovascular precision medicine based on GWAS findings 〈英語〉
座長：吉田 雅幸 (東京医科歯科大学 先進倫理医科学)
岡田 随象 (大阪大学大学院 医学系研究科遺伝統計学)
- (13) Molecular mechanisms of cardiovascular aging and diseases progression 〈英語〉
座長：南野 徹 (順天堂大学 大学院医学研究院 循環器内科)

- (14) Recent advance of cardiovascular regeneration research 〈英語〉
座長：福田 恵一（慶應義塾大学 循環器内科）
Charles E. Murry（University of Washington）
- (15) Up date of intensive care for cardiogenic shock 〈英語〉
座長：田原 良雄（国立循環器病研究センター 心臓血管内科）
Robert Neumar（Department of Emergency Medicine University of Michigan Medical School）
- (16) Utilizing AI for cardiovascular disease practice 〈英語〉
座長：西村 邦宏（国立循環器病研究センター 予防医学疫学情報部）
Khung Keong Yeo（National Heart Centre）

8. シンポジウム

- (1) Vulnerable plaques and vulnerable patients: Up-to-Date 〈英語〉
座長：上村 史朗（川崎医科大学 循環器内科）
Ik Kyung Jang（Harvard University / Massachusetts General Hospital）
- (2) Treatment strategy for severe AMI (Tentative) 〈英語〉
座長：伊莉 裕二（東海大学 循環器内科）
- (3) 仮)Importance of heart team in the treatment of coronary artery disease 〈英語〉
座長：中村 正人（東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科）
David Taggart（Cardiovascular surgery, University of Oxford, John Radcliffe Hospital）
- (4) Front Lines of Optimal Management of Atherosclerosis Risks 〈英語〉
座長：山下 静也（地方独立行政法人りんくう総合医療センター）
Paul Ridker（Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School）
- (5) Forefront of Revascularization, Exercise and Pharmacotherapy for Peripheral Arterial Disease 〈英語〉
座長：安 隆則（獨協医科大学 日光医療センター）
Mary McDermott（Northwestern University Feinberg School of Medicine）
- (6) Novel cardiovascular approaches for stroke prevention by multidisciplinary brain-heart team 〈英語〉
座長：森野 禎浩（岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野）
Mamoo Nakamura（Cedars-Sinai Medical Center）
- (7) What have the advances in cardiac implantable electronic devices (CIEDs) changed?: Current status and the near future. 〈英語〉
座長：埴田 浩（福井大学 医学部循環器内科学）
Paul A. Friedman（Department of Cardiovascular Medicine, Mayo Clinic）
- (8) Recent advancement of non-pharmacological therapies for atrial fibrillation 〈英語〉
座長：山根 禎一（東京慈恵会医科大学 循環器内科）
Laurent Macle（Montreal Heart Institute）
- (9) Current perspective on Precision Medicine of Inherited Arrhythmias 〈英語〉
座長：清水 渉（日本医科大学大学院 医学研究科循環器内科学分野）
Arthur A.M. Wilde（Amsterdam UMC, location AMC）

- (10) Molecular mechanisms of heart failure (英語)
座長：小室 一成 (東京大学大学院 医学系循環器内科学)
- (11) Current status and future concern of non-pharmacological therapy to heart failure among super aging society (英語)
座長：絹川弘一郎 (富山大学 第二内科)
JoAnn Lindenfeld (Vanderbilt University)
- (12) Structural and functional abnormalities of the atria in heart failure～ from diagnosis to therapy～ (英語)
座長：山本 一博 (鳥取大学 循環器・内分泌代謝内科)
- (13) Early Diagnosis of Cardiomyopathies Using Multimodality Imaging (英語)
座長：中谷 敏 (済生会千里病院)
Raymond Y. Kwong (Brigham and Women's Hospital Harvard Medical School)
- (14) Atrial functional MR をどう治療するか？ (日本語)
座長：柴田 利彦 (大阪市立大学 心臓血管外科)
泉 知里 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
- (15) Present and perspective of continuous-flow ventricular assist device in the coming time of destination therapy (英語)
座長：小野 稔 (東京大学大学院 医学系研究科心臓外科学)
Nir Uriel (CUMC/Presbyterian Hospital and Vanderbilt Clinic)
- (16) ICT を用いたリスク管理の最先端 (日本語)
座長：大屋 祐輔 (琉球大学大学院 循環器・腎臓・神経内科学)
田村 雄一 (国際医療福祉大学 医学部循環器内科)
- (17) 今変わるダイバーシティ タスクシェア実現と診療看護師育成 (日本語)
座長：福本 義弘 (久留米大学 心臓・血管内科)
坂東 泰子 (名古屋大学 循環器内科)
- (18) Diversity of Cardiologist—医療×経済— (日本語)
座長：塚田(哲翁) 弥生 (日本医科大学／武蔵小杉病院 救急・総合診療センター)
谷口 達典 (大阪大学大学院 医学系研究科循環器内科学／株式会社リモハブ)
- (19) Novel therapeutic strategy of pulmonary hypertension —from bench to bed— (英語)
座長：瀧原 圭子 (大阪大学 キャンパスライフ健康支援センター)
Marc Humbert (University Paris-Saclay)
- (20) CCU で勤務するためにこれだけはしっておきたい集中治療の最新の話 (日本語)
座長：笠岡 俊志 (熊本大学 災害医療教育研究センター)
伊藤 智範 (岩手医科大学 循環器医療センター 内科学講座 循環器内科分野／心
血管リサーチセンター)
- (21) 医師偏在へき地医療の現状と解決への取り組み (日本語)
座長：永井 良三 (自治医科大学)
野上 昭彦 (筑波大学 医学医療系循環器内科)

- (22) 地域を含めた心不全のチーム医療：急性期病院と地域のネットワーク 〈日本語〉
座長：三浦稚郁子（公益社団法人 地域医療振興協会）
東條美奈子（北里大学 医療衛生学部）
- (23) 診療支援のためのロボット工学・バーチャルリアリティー 〈日本語〉
座長：中村 匡徳（名古屋工業大学 電気・機械工学科）
坂田 泰史（大阪大学 循環器内科学）
- (24) Cancer chemotherapy and cardiovascular complications 〈英語〉
座長：赤澤 宏（東京大学大学院 医学系研究科循環器内科学）
Alexander Lyon（Royal Brompton Hospital Imperial College London）
- (25) 循環器領域における保険診療の課題と対策：技術評価の時代へ 〈日本語〉
座長：池田 隆徳（東邦大学大学院 医学研究科循環器内科学）
松本 万夫（東松山医師会病院）

9. 会長特別企画

10. ジョイントシンポジウム

(1) ACC-JCS Joint Symposium

Frontiers in the Treatment of Mitral Regurgitation

座長：山本 一博（鳥取大学）

The number of patients with mitral regurgitation has increased with aging of the society. Because surgical risk is elevated in elder patients, in particular, with severe left ventricular dysfunction, a less invasive approach to mitral regurgitation has been developed. Transcatheter edge-to-edge repair (Mitraclip[®]) has been clinically applied across the world, and as it becomes more widespread, the range of patient indications is expanding from their original indications as well. In patients with secondary mitral regurgitation, this repair approach seems to be the preferred one. In parallel with the spread of this method, several new and less invasive approaches have been proposed. This session will focus on the less invasive treatment of mitral regurgitation and the latest findings in the treatment.

(2) AHA-JCS Joint Symposium

COVID-19 and Cardiovascular Disease: Complications Such as Stroke

座長：野出 孝一（佐賀大学）

It has been reported that COVID-19 infection is more likely to become severe in patients with cardiovascular disease and diabetes. Cardiovascular complications include inflammation, heart failure, arrhythmia, pulmonary infarction, cerebral infarction, and serious pathological conditions due to thrombosis. At this symposium, we plan to discuss the management, treatment, and prevention of cardiovascular complications caused by COVID-19 infection.

(3) ESC-JCS Joint Symposium

Recent Advances in Coronary Imaging and Intervention

座長：新家 俊郎（昭和大学）

Recent advancement in coronary imaging techniques and technologies has provided us a more precise understanding of the pathophysiology of coronary artery disease, especially the progression of atherosclerotic changes leading to acute and chronic coronary syndromes. It also has moved beyond research frameworks to improve clinical decision-making strategies and optimize individualized coronary intervention. In this symposium, cutting-edge imaging technology in each invasive and non-invasive field will be discussed in order to achieve contemporary optimal management of patients with coronary artery disease.

(4) KSC-JCS joint symposium

The New Trend of Regeneration Therapy in Cardiology

座長：福田 恵一（慶應義塾大学）

Clinical application of regenerative medicine in the cardiovascular field had been investigated using cardiac stem cells, skeletal myoblasts, mesenchymal stem cells, and ES and iPS cells. There is wide variation between therapeutic cell sources and methods of transplantation. Some studies examine direct transplantation of regenerated cardiomyocytes, and others expect that humoral factors improve cardiac function. In this joint session, we will discuss the future direction of regenerative medicine in order to achieve our final goals. We ask the speakers to clarify how they apply basic research in their clinics, what kind of heart disease is targeted, how long the transplanted cells can survive, how to prevent the tumor formation, and what is the mechanism of improvement of cardiac function.

(5) CSC-JCS Joint Symposium

The Recent Advance in Coronary Intervention

座長：伊莉 裕二（東海大学）

Percutaneous coronary intervention (PCI) is one of the major coronary revascularization procedures, along with bypass surgery. In 2015, a MATRIX study showed radial access for acute coronary syndrome reduces mortality rate. Radial access is technically difficult but its benefit is clear, and while slender PCI is an even more difficult technique, its less invasive aspect is attractive. We can detect plaque morphology using OCT imaging, and IVUS-guided PCI improves short-term and long-term outcomes. Chronic total occlusion is a challenging field in PCI, but several new techniques and devices have improved its success rate. In this session, we would like to discuss these recent advances in PCI and more.

(6) APSC-JCS Joint Symposium

Management of Stable Coronary Artery Disease after ISCHEMIA Trial

座長：大倉 宏之（岐阜大学）

Whether or not percutaneous coronary intervention (PCI) is beneficial in treating stable coronary artery disease has been debated. Currently, the indication of PCI is determined based on the presence or absence of ischemia, and FFR is widely used to assess coronary physiology rather than angiography-based anatomical assessment alone. The ISCHEMIA study found that PCI does not provide any notable clinical benefit over optimal medical therapy in stable coronary artery disease, even in the presence of coronary ischemia. This symposium will discuss the impact of the ISCHEMIA trial on treatment strategies for stable coronary artery disease. We will also discuss the potential benefit of PCI in the post-ISCHEMIA trial era.

11. 教育セッション

虚血性心疾患の治療と予防

座長：中川 義久（滋賀医科大学 循環器内科）

大倉 宏之（岐阜大学 循環病態学）

不整脈診療の最新の進歩

座長：萩原 誠久（東京女子医科大学 循環器内科）

清水 渉（日本医科大学 循環器内科）

心不全診療における血行動態の評価と理解

座長：渡辺 昌文（山形大学 内科学第一講座）

猪又 孝元（北里研究所病院 循環器内科）

心疾患と妊娠出産

座長：樗木 晶子（福岡歯科大学）

神谷千津子（国立循環器病研究センター 周産期・婦人科）

心臓移植・肺移植の現状と課題

座長：布田 伸一（東京女子医科大学 重症心不全制御学分野）

戸田 宏一（大阪大学 心臓血管外科）

蘇生ガイドライン2020の解説

座長：野々木宏（大阪青山大学 健康科学部）

菊地 研（獨協医科大学 心臓・血管内科/循環器内科 救命救急センター）

事前参加登録のお知らせ

第85回学術集会では、参加登録、教育セッションの事前参加登録を行います。

第85回学術集会ホームページ「事前参加登録」ページからご登録ください。

<http://www.c-linkage.co.jp/jcs2021/>

教育セッションのみの事前参加登録はできません。

✦ 受付期間

参加登録 ▶ 2020年 **12月24日**[木] 正午～ 2021年 **3月18日**[木] 17:00まで

教育セッション ▶ 2020年 **12月24日**[木] 正午～ 2021年 **3月18日**[木] 17:00まで

* 参加登録時に合わせてお申し込みください(学術集会本体の参加登録が必須となります)。

✦ 参加登録費

参加区分	参加費(事前)	参加費(当日)	必要な提示物
日本循環器学会正会員	18,000円	22,000円	—
日本循環器学会準会員	6,000円	8,000円	—
非会員	35,000円	40,000円	—
非会員(コメディカル)	7,000円	9,000円	所定の証明書
研修医(前期)	当日登録のみ	無料	所定の証明書
大学院生 (日本人医師を除く)		無料	学生証
学部学生 (医学部・薬学部・工学部等含む)		無料	学生証
在日留学生		6,000円	所定の証明書
海外参加者 (日本からの留学生は除く)	35,000円 (団体10名につき、1名無料)	40,000円	—

※ 参加区分「日本循環器学会正会員」の参加費 18,000 円(当日 22,000 円)、「日本循環器学会準会員」の参加費 6,000 円(当日 8,000 円)に消費税はかかりません。(不課税)

※ プログラム集の事前配布はございません。プログラムの情報は、ホームページをご確認ください。

✦ コメディカルの登録

- ・ コメディカルの方は所定の証明書の提出が必要です。
登録確認画面、もしくは第85回学術集会ホームページよりダウンロードしてください。

✦ 研修医（前期）、留学生の登録

- ・ 事前参加登録は「日本循環器学会正会員・準会員」、「非会員医師および医療関係者」、のみを対象とさせていただきます。
研修医(前期)、大学院生、学部学生、海外参加者、留学生は会期当日に登録を行ってください。
 - ・ 研修医(前期)、留学生は所定の証明書の提出が必要です。
- ※証明書の提出がない場合は「非会員」当日参加費40,000円をお支払いいただきますので、予めご注意ください。
証明書は第85回学術集会ホームページよりダウンロードしてください。

✦ 教育セッション

- ・ 参加費は 3,000 円です。
- ・ お申し込み後の返金はできませんので、登録の際はご注意ください。
- ・ 教育セッションの内容については[第85回学術集会ホームページ](#)をご参照ください。

✦ 専門医研修単位登録

- ・ 専門医研修単位登録については、詳細が決まり次第、ご案内いたします。

事前参加登録時の注意点

- 事前参加登録完了メールの自動配信・その他のご連絡はすべて E-mail で行います。
必ず連絡先として使用される E-mail アドレスをご入力ください。
- 参加登録後の取り消しは、お受けいたしかねます。お支払いいただいた参加登録費は自己都合による返金はいたしませんので、二重登録にご注意ください。**
- 国内参加者の団体登録は受付いたしません。

◆事前参加登録に関するお問い合わせ先

第85回日本循環器学会学術集会 参加登録事務局

TEL : 03-3263-2359 (受付時間 : 平日10:00~17:00)

FAX : 03-3263-8693

E-mail : reg-jcs2021@c-linkage.co.jp

◆銀行振込の場合の注意事項

- 事前参加登録は入金を確認をもちまして完了となります。
- 入金確認には 1 週間程度お時間をいただいております。
振込手数料はご参加者様にてご負担いただきますようお願いいたします。
- 振込人名が参加者様と異なる名称になる場合は、事前参加登録画面「振込人名」欄にご入力いただくか、参加登録事務局へ E-mail にてご連絡ください。
- お振込の際は、振込人名にご参加者様の氏名をご記入ください。
- 所属機関名のみでのお振込や複数名の参加費一括お振込の場合は、1. 参加者氏名 2. 振込依頼人名 3. 振込予定日 4. 金額を、参加登録事務局へ E-mail にてご連絡ください。
- 銀行振込の場合の参加登録期間は 3 月 12 日 (金) 17:00 まで、最終振込期限は 3 月 18 日 (木) までとなります。

プレナリーセッション，シンポジウム開催要領

1. プレナリーセッション，シンポジウムの開催要領は原則として下記の通りです(ただし一部の日本語発表セッションを除く).
 - 1) プレナリーセッション
 - 招請外国人による講演(state-of-the-art)を行う。その後，招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
 - 発表者は各専門領域における各自のデータに加え，現況と将来の方向について講演(オーバービュー)する。
 - 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする。
 - 総合討論は行わない。
 - 2) シンポジウム
 - 招請外国人による講演(keynote lecture)を行う。その後，招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
 - 各自の最先端の研究について発表し，自由な討論を行う。
 - 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする。
2. 応募演題の採否結果は，**9月23日(水)**に E-mail でご連絡いたしました。
3. 演題の取り消しは，会期初日の2カ月前(2021/1/25)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2021/1/26～)については，発表業績として取り扱うとし，取り消しは致しかねます。
4. 日本循環器学会の臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)に関する共通指針に基づき，**筆頭発表者は共同演者も含めて**該当する COI 状態について，発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に，あるいはポスターの最後に開示が必要となります。

一般演題採否について

1. 演題採否通知

採択された演題は、2020年12月22日(火)に登録番号、採択演題名、筆頭演者名をホームページでカテゴリ別に掲示しますので、各自ご確認ください。また、発表日程については登録された E-Mail アドレス宛に後日、改めて送付いたします。

2. 演題の採否決定

申込演題の採否は会長が委嘱する査読者の採点に基づいて会長が決定します。

3. 国内演者の応募資格

演題応募の時点で、筆頭著書および共著者は本学会会員であり、かつ2020年度会費納入者であることが必要です(※ただし、学部学生、修士、初期研修医、外国人留学生はこの限りではない)。入会をご希望の方は、下記ホームページよりご入会の手続きをお願いいたします。なお、入会は、入会金2,000円および2020年度会費(正会員：15,000円、準会員：8,000円)のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局
URL <https://www.j-circ.or.jp/nyukai/>

4. 臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)について

日本循環器学会の臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)に関する共通指針と細則に基づき、筆頭発表者は共同演者も含めて、配偶者、一親等の親族、生計を共にする者も含めて、当該演題に関して「臨床研究に関連する企業、法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去3年間における COI 状態の有無を発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に、あるいはポスターの最後に開示が必要となります。なお、演題登録時の COI 申告に修正がある場合は、当日の発表時にお示しください。

5. 演題取り下げについて

演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2021/1/25)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2021/1/26～)については、発表業績として取り扱うこととし、取り消しは致しかねます。

第 85 回日本循環器学会学術集会 (JCS 2021) 宿泊のご案内

2021 年 3 月 26 日(金)～28 日(日)の 3 日間、パシフィコ横浜にて第 85 回学術集会(JCS 2021)が開催されます。
全国各地よりご参加の皆様方の宿泊手配を(株)JTB で担当をさせていただくことになりました。つきましては、以下に宿泊受付の概要についてご案内を致します。何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

1. お申込み方法

下記 URL(学術集会ホームページのトップページ[宿泊案内](#))にリンクが貼られています)よりお申込み下さい。

<https://amarys-jtb.jp/jcs2021/>

お支払い方法については、①クレジットカード(オンライン決済)②コンビニエンスストア③インターネットバンク(ペイジー)④銀行振込
いずれかの選択が可能です。

- ・ご利用可能なクレジットカード会社: VISA / MasterCard® / JCB / AMEX / Dinners Club
 - ・コンビニエンスストア支払いを選択された場合、収納代行手数料 420 円(税込)が請求金額に別途加算されます。
 - ・インターネットバンク(ペイジー)、銀行振込支払いを選択された場合、振込手数料はお客様負担にてお願い申し上げます。
- いずれの場合も、ご旅行(ご宿泊)代金のお支払いが完了すると、オンライン(マイページ)上に宿泊プラン登録確認書が自動生成されますので印刷をいただき宿泊先までご持参下さい。
- ・インターネット環境にない場合は、別途お問い合わせ下さい(FAX 申込書用の書面を郵送致します)。

2. 宿泊プランについて

- ◆ご宿泊取扱日: 2021 年 3 月 25 日(木)/26 日(金)/27 日(土)/28 日(日)の 4 泊
- ◆宿泊プランは弊社募集型企画旅行契約にて承ります。申込ステップ中表示される旅行条件書を必ずご確認ください。

3. 受付スケジュールについて

申込受付開始: 2020 年 12 月 24 日(木) 正午

申込受付締切: 2021 年 3 月 5 日(金) 正午 ※満員になり次第締め切らせていただきます※

*今後の感染状況や国・地方自治体等による各種観光キャンペーンの状況により、申込受付の中止、停止及び上記記載のスケジュールが変更となる場合がございます。最新情報は学術集会ホームページにてご確認ください。

4. 添乗員

この旅行では、添乗員が同行せず、約款に定める旅程管理は行いません。お客様に旅行サービスの提供を受けるために必要な確認書類をお渡し致しますので、お手続きはお客様ご自身で行っていただきます。

5. 最少催行人員

1 名様

6. 変更・取消について

- ◆変更・取消についてはオンライン(マイページ)上でお願い申し上げます。尚、会期直前になるとオンライン上の変更・取消を制限させていただきますので FAX、E-mail にてご連絡下さい(電話ではお受け致しかねます)。
- ◆変更・取消に伴うご返金・追加お支払いについても、オンライン(マイページ)上でお手続きをお願い申し上げます。
- ◆お申込み後の取消は、下記の通り取消料を申し受けます。
(取消日＝宿泊開始日の前日から起算してさかのぼって)

宿泊プラン	取消日	6 日前まで	5 日目～前日の解除	当日の解除(17:30 まで) *右記除く	旅行開始後、 無連絡(不泊)
	取消料	無料	20%	50%	100%

7. 個人情報の取り扱いについて

お送りいただきました個人情報については、連絡の為に利用させていただく他、お申込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等が提供するサービスの手配・受領の為の手続き、あるいは当学術集会の円滑な運営の為に必要な範囲内で利用致します。

8. お問い合わせ先

(株)JTB 横浜支店 営業第 2 課

「第 85 回日本循環器学会学術集会」宿泊受付デスク

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3-29-1 第 6 安田ビル 6 階

TEL: 045-316-4602 FAX: 045-316-5701 e-mail: jtb_convention@jtb.com

[営業時間] 午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分(土・日・祝日休業)

(総合旅行業務取扱管理者: 浦上 博行)



旅行企画・実施
(株)JTB

観光庁長官登録旅行業第 64 号

日本旅行業協会正会員・旅行業公正取引協議会会員

〒140-8602 東京都品川区東品川 2-3-11

* 総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

関連会合開催申し込みについてのご案内

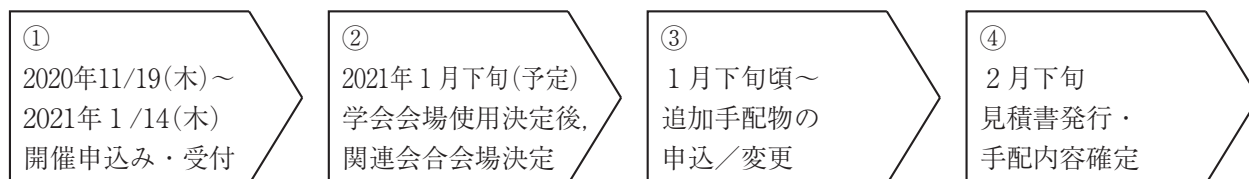
第85回日本循環器学会学術集会の会期中に、パシフィコ横浜にて開催される各種関連会合のお申し込みを受付しております。

詳細はホームページに記載いたしますので、ご確認ください。

なお、正式プログラムの実施時間帯においては、関連会合は開催しないことを基本方針としております。
ご理解とご協力をお願いいたします。

申込開始日：2020年11月19日(木)正午より

申込締切日：2021年1月14日(木)正午まで



※詳しくは第85回日本循環器学会学術集会ホームページ

<https://www.c-linkage.co.jp/jcs2021/>

の「関連会合」のページをご参照ください。

※会場に関しては先着順でのご案内とさせていただきます。

※今回は関連会合に利用できる室数が極めて限られておりますのでご用意できない場合もございます。

※特に3月27日(土)のお昼の時間帯は、学会場内で開催いただくことが極めて困難ですので、できるだけ避けていただきますようお願いいたします。

※学会場以外の施設を直接ご手配いただく場合は、運営事務局にお知らせいただく必要はございません。

※キャンセル料については以下の通りです。

会場費：2021年2月11日(木)以降 キャンセル料100%

手配物：2021年3月4日(木)以降 キャンセル料100%

2020年度循環器疾患診療実態調査(JROAD)データ利用研究公募要領

(研究趣旨)

循環器疾患診療実態調査(以下、JROAD)の集積データは、循環器疾患の診療実態を明らかにするとともに、日本の循環器病疾患医療の質の向上に資する研究に用いることができる。



(利用可能なデータ対象期間)

2012年4月1日～2020年3月31日のデータ。

(活用できるデータ)

JROAD 施設調査変数表

JROAD-DPC 解析用データ定義書

データ項目は途中変更があり、経年データを利用できない場合があります。

不明な点は下記まで問合せください。

(研究期間)

承認後2年間。

(応募資格)

日本循環器学会員で且つ本会入会后3年を経過し、会費を完納している者。

(選考方法)

JROAD 研究利用審査検討会の書類選考による。

採択課題は最大で10演題程度を予定。

(選考期日)

2021年3月 JROAD 研究利用審査検討会、IT/Database 部会にて開催

(選考発表および結果通知)

2021年3月中旬頃

(費用負担)

データ名	費用(税込)
循環器疾患診療実態調査(JROAD)	500,000円
各施設の循環器医療に関する DPC 情報(JROAD-DPC)	500,000円

(応募方法と提出書類)

- (1) JROAD 事務局と事前打ち合わせを行う(詳細はこちら).
- (2) (1)終了後, 所定申請書を作成(捺印/署名有)し, 原本を本会事務局に郵送(メール送付応募不可). なお応募書類は返却しない.

提出書類一覧

国立循環器病研究センターで データを利用する場合	国立循環器病研究センター「外」で データを利用する場合
<u>循環器疾患診療実態調査データ利用申請書</u>	
<u>研究利用に関する誓約書</u>	<u>研究利用に関する誓約書</u>
(セキュリティ計画書は不要)	<u>セキュリティ計画書</u>
<u>データ利用申請書のチェック項目</u>	

(JROAD事務局 事前打ち合わせ期間)

2020年11月2日(月)～2021年1月22日(金)

(応募書類受付期間)

2020年11月2日(月)～2021年1月29日(金)17時郵送必着厳守

(報告の義務)

研究終了後, 3 か月以内に所定の「公募研究終了報告書」を作成し, 日本循環器学会事務局へ提出.

(問い合わせ及び申請書類の提出先)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F
IT/Database 部会 担当
E-mail : ITdatabase@j-circ.or.jp

循環器専門医制度

専門医制度委員会

2021年度認定循環器専門医研修・研修関連施設の申請について

2021年度認定の循環器専門医研修・研修関連施設の申請受付を開始しております。
従来とは異なる箇所もありますので、下記をよく確認し申請してください。

はじめに(重要)

2019年度認定より、現在研修中の先生への影響を最小限に抑えるため、新旧両方の制度での施設認定を並行して行っております。2021年度認定では、「新・旧制度それぞれ両方に申請(新規・更新・年次報告)する」、「新制度のみ申請(新規・年次報告)する」、「旧制度のみ申請(新規・更新)する」の3種類の申請を受付けます。

数年後は新制度へ移行することを検討しておりますが、日本専門医機構からの指導等により変更となる可能性もあります。

ご自身の施設が3種類の申請のうち、どの申請をしたら良いかは本会 HP に掲載の「施設状況一覧」をご確認ください。また、申請にあたっては HP に「申請マニュアル」を用意しておりますのでご参照ください。

《要 項》

1. 日 程

申請期間：2020年10月1日(木)～11月30日(月)

2. 認定期間

◆新制度：2021年4月1日～2026年3月31日(5年間)

※認定の2～4年目に「年次報告」を提出頂き状況を確認します。

◆旧制度：2021年4月1日～2023年3月31日(2年間)

3. 申請資格

認定を希望する施設は、次の全てを充足することが必要です(旧制度は専門医制度規則第13条、新制度は循環器領域の専門医研修整備基準に準拠)。必要に応じて現地調査を行います。

◆新制度

A. 研修施設

- 1) カリキュラムを達成できるのに十分な症例を経験できること。
- 2) 循環器専門医2名以上(1名は指導医)が常勤し、指導体制が充分であること。
- 3) 研修カリキュラムを施行・修了可能な指導体制・設備が整っていること。
- 4) 指導方法、臨床研修指導医ワークショップの機会を提供できること。
- 5) メンタルヘルスに関する相談窓口を設置すること。
- 6) 専門医研修管理委員会を設置すること。
- 7) 循環器診療の実態調査(JROAD)に協力すること。

B. 研修関連施設

- 1) 循環器専門医1名以上が常勤すること。
- 2) 日本循環器学会が認定した研修施設と関係を有すること。
- 3) 認定研修施設と相談のうえ、研修カリキュラムの一部を受けもつこと。
- 4) 研修施設と関係したメンタルヘルスに関する相談窓口を設置すること。
- 5) 連絡する研修施設が管理する専門医研修管理委員会に属すること。
- 6) 循環器診療の実態調査(JROAD)に協力すること。

◆旧制度

A. 研修施設

- 1) 循環器系病床として常時30床以上を有すること。 ※ 1
- 2) 循環器専門医 2 名以上が常勤し、指導体制が充分であること。
- 3) 研修カリキュラムに基づく研修が可能な指導体制・設備が整っていること。 ※ 2
- 4) 循環器診療の実態調査(JROAD)に協力すること。

B. 研修関連施設

- 1) 日本循環器学会が認定した研修施設と関係をもつこと。
- 2) 循環器系病床として常時15床以上を有すること。 ※ 1
- 3) 循環器専門医 1 名以上が常勤すること。
- 4) 認定研修施設と相談のうえ、研修カリキュラムの一部を受けもつこと。また、自施設でも基本的な研修が可能な設備が整っていること。 ※ 2
- 5) 循環器診療の実態調査(JROAD)に協力すること。
 - ※ 1 循環器科，心臓血管外科，小児循環器科，CCU を含みます。ただし透析病床は含みません。
 - ※ 2 設備状況の達成目標 A 項目が全て必要です。また，達成目標 B 項目についても審査・評価をいたします。なお，専門医を目指す医師の研修のためには，研修カリキュラム達成度評価表の内容を満たすことが必要です。

4. 情報公開

研修施設・研修関連施設につきましては，以下の情報が本会 HP にて公開されますので，ご了承下さい。

- ・施設認定区分(新・旧/研修・関連)，施設番号，施設名称，所在地，電話番号，FAX 番号
- ・施設長氏名，循環器専門医代表者氏名

5. その他

施設申請に関する全ての連絡(問い合わせ・施設証送付など)は E-mail・郵便などで循環器専門医代表者宛にお送りしますので，ご留意ください。

2021年度 日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について

I. 審査方法

書類審査及び筆記試験(書類審査合格者のみ筆記試験の受験資格を有する)

II. 受験資格

1. 次の5項を充足していること.

- 1) 日本国の医師免許証を有し、医師としての人格及び見識を備えていること.
- 2) 受験年度の4月1日現在、認定内科医／総合内科専門医／外科学会認定登録医／外科専門医／小児科専門医、いずれかの資格を取得していること.
- 3) 本学会正会員であり、通算して3年以上の正会員歴を有すること(※1).
- 4) 医師免許取得後、専門医試験日前日をもって満6年以上の臨床研修歴を有すること(※2). 6年のうち3年以上は本学会指定の研修施設または研修関連施設で研修していること(※3).
2004年度(平成16年度)以降に医師免許を取得したものは、基本領域資格取得年度の4月から、専門医試験日前日をもって満3年以上本学会指定の研修施設または研修関連施設で研修していること(※3, ※4).
- 5) 「AHA ACLS プロバイダーコース」「AHA ACLS-EP コース」「AHA ACLS インストラクターコース」「AHA ACLS-EP インストラクターコース」のいずれかを受講し、受験年度の4月1日現在有効な認定を受けていること. また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダーコース」「AHA PALS インストラクターコース」も同等資格として認める.

2. 審査料(※5)および年会費を2021年6月末までに完納していること.

3. 喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し、自ら禁煙し且つ禁煙の啓発に努めること.

4. 試験の合格後、専門医名簿への公開に同意すること.

※1 2021年4月1日現在3年目で可. 2020年度以降の入会者は受験できません.

※2 2003年度以前に医師免許を取得した方は2年間のスーパーローテーションを含む.

※3 研修関連施設での研修も研修施設と同等の扱いにします. (従来は研修関連施設での研修は1/2換算としていました)

※4 循環器研修を基本領域資格取得年の4月から開始可能とします. (従来は基本領域資格取得後、筆記試験前日までに満3年の研修が必要でした)

※5 5月上旬に振込を依頼しますのでお手続きください.

振込は会員ポータルサイトにログインいただき、クレジットカード、コンビニ、ペイジーの方法のいずれかにてご対応ください.

III. 申請方法 ※現在申請システム検討中のため、申請方法について変更の可能性があります. 当会 HP にて改めてご案内致します.

以下の書類を事務局まで郵送してください. ①は会員ポータルサイトに作成し、印刷して郵送してください. ②～④は WEB 上よりダウンロードして、必要事項を入力の上、PDF に変換し、アップロード及び印刷して郵送してください. ⑤は WEB 上よりダウンロードして、必要事項を入力の上、印刷して郵送してください. ⑥⑦は WEB 上よりダウンロードして必要事項を記載し、押印の上、郵送してください. ⑧⑨はコピーを郵送してください.

書類作成にあたり、当会 HP の「診療実績表評価基準」「よくあるご質問」「申請書作成の手引き」等を必ず確認してください.

※症例や引用論文は原則として10年以内のものとします.

※手術症例は開胸・開腹を伴うものとします.

※提出書類で個人が特定できる情報(氏名, ID, 住所, 生年月日の日にち)には必ずマスキングをして下さい. マスキングされていない(視認できる)場合には、それだけで不合格になることがあります.

(①～⑨まで全ての書類を同封してお送りください)

- ① 循環器専門医資格認定審査申請書
- ② 診療実績表(A)受持入院患者一覧表
- ③ 診療実績表(B)研修記録
- ④ 診療実績表(C)手術所見, (D)外科手術記録, (E)剖検記録のいずれか
- ⑤ 所属履歴
- ⑥ 研修(研修関連)施設在籍証明書
- ⑦ 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
- ⑧ 基本領域の資格証書のコピー
- ⑨ 「AHA ACLS プロバイダー」「AHA ACLS-EP」「AHA ACLS インストラクター」「AHA ACLS-EP インストラクター」、また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダー」「AHA PALS インストラクター」いずれかのカードのコピー

Ⅳ. 筆記試験不合格者の特別措置について

2019年度試験より、2018年度以降の書類審査に合格し筆記試験で不合格となった受験申請者は、翌年度以降2年間は診療実績表審査を免除する特別措置を適用致しました。

Ⅴ. 優遇措置内容

1. 対 象

2018年度、2019年度の筆記試験不合格者

2. 有効期間

筆記試験不合格となった翌年度以降の2年間(2020年度筆記試験は中止のため、2020年度は除く)

3. 受験資格

通常の受験資格(上記Ⅱ. 受験資格)と同様です。

4. 申請書類

「診療実績表(A)～(E)」と「研修(研修関連)施設在籍証明書」の提出が免除されます。以下の書類を申請書類提出期間中(下記Ⅵ. 日程)に事務局まで郵送してください。

- ① 循環器専門医資格認定審査申請書
- ② 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
- ③ 基本領域の資格証書のコピー
- ④ 「AHA ACLS プロバイダー」「AHA ACLS-EP」「AHA ACLS インストラクター」「AHA ACLS-EP インストラクター」、また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダー」「AHA PALS インストラクター」いずれかのカードのコピー

Ⅵ. 日 程

日 程	内 容
1月29日～3月31日 16:00まで	受験申請・申請書類作成期間(※1) <u>この期間以後の新規受験申請は受付不可</u>
4月1日～4月9日 消印有効	申請書類提出期間(※2)
5月上旬	審査料払込用紙送付(※3)
5月～7月中旬	申請書類審査期間
7月下旬	書類審査結果通知(※4)
8月22日(日)	筆記試験施行(※5)
10月下旬	合否通知

- ※1 受験者が会員ポータルサイトを介して受験申請・申請書類を作成する期間。
データはこちらで保管しておりませんので、必要に応じてご自身で記録をお取りください。
- ※2 受験者が申請書類を事務局へ送付する期間。
この期間以後に到着した書類は一切受け付け致しません。
なお、提出された書類の確認は申請書類提出期間以降に行います。
提出された書類は返却いたしませんので、必ず控えをとってお送りください。
(書類審査不合格の場合は、「研修カリキュラム達成度評価表」のみ返却致します。)
- ※3 事務局から審査料の振込依頼をします。審査料は20,000円です。
1度支払われた審査料は、いかなる理由であっても返金しません。
- ※4 書類審査不合格の場合は、責任者にも判定理由を通知します。
- ※5 試験練習問題は学会ホームページ(一般公開)でご確認頂けます。

Ⅶ. 認定について

- 試験の合格後、専門医認定申請の手続きをご案内致します。
- 認定料は30,000円です。

循環器専門医資格認定試験およびその申請書等において不正が判明した場合は専門医制度規則により厳格な処分が科せられます。

2021年度循環器専門医資格認定更新

【重要】お手続きのご案内

自動的には更新されません。各期限までに必ずご対応ください。

専門医更新申請の手引き(本会 HP 内)：

トップページ → 専門医ページ内、循環器専門医制度「専門医資格認定更新」

→ ・2021年度循環器専門医資格認定更新について

Step① 「専門医資格申請情報」の作成

期限：2020年11月20日

会員ポータルサイトにアクセスし、「専門医資格申請情報」から更新手続きを行ってください。会員ポータルサイトのログインパスワードはご自身で発行頂いたものです。

お忘れの場合は、ログイン画面の **パスワードをお忘れですか?** をクリックしてください。

Step② 年会費(15,000円/年)のお支払い

期限：2021年3月15日入金まで

会員ポータルサイトの「請求収納情報」をご確認ください。

今年度までの会費が未納の場合は、未納分の年会費をお振込みください。

Step③ 単位の取得

期限：2021年3月31日

期限までに更新に必要な単位を取得ください。現在の取得単位は会員ポータルサイトでご確認いただけます。

Step④ 「専門医資格申請情報」の申請

①～③を完了し次第お手続きください。

会員ポータルサイトにアクセスし、Step①で保存した「専門医資格申請情報」の申請作業をしてください。

Step⑤ 更新料(30,000円)のお支払い

この手続きは④を完了している必要があります。

会員ポータルサイトの「請求収納情報」をご確認の上、更新料をお振込ください。(クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー、郵便振替を選択)

Step⑥ 更新手続きの完了

更新料をお振り込みいただきましたら更新手続きは完了です。

- ・更新後の認定期間は2021年4月1日～2026年3月31日です。
- ・証書発送は、上記の更新条件を充足した方から3月中旬以降順次発送致します。

会員ポータルサイトからのお手続きが難しい場合のみ

こちらの申請書でお手続きください。（インターネット環境がない等）

更新の場合は基本領域資格証書(コピー)も併せてお送りください。

FAX：03-5501-9855

一般社団法人 日本循環器学会
専門医制度委員会 殿

日本循環器学会認定循環器専門医資格 認定更新申請書

☐ 更新申請します。

喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し、自らが禁煙し且つ禁煙の啓発に努めます。
認定期間内に認定更新に必要な下記条件を充足し、認定更新を希望します。

- ① 「更新」の意思表示
- ② 基本領域資格を取得していること
- ③ 更新に必要な単位の取得
- ④ 更新年度までの年会費の納入
- ⑤ 認定更新料の納入

☐ 辞退申請します。

年 月 日

氏名： 会員番号：

ご住所：〒

TEL：

【お問合せ先】

MAIL：senmoni@j-circ.or.jp

TEL：03-5501-0864

一般社団法人 日本循環器学会 事務局

循環器専門医研修単位登録受付新システムについて

2019年度地方会以降、単位の受付は新システムを導入しました。

専門医カードのご提示で単位登録受付をして頂くと、登録確認メールの配信、下記ご案内の Web サイトへの単位反映が即時行われるようになりました。

旧システムからの変更点

①Web 上ですぐに単位登録状況を確認できます

単位登録後すぐに当日取得した単位の登録状況を Web でご確認ください。

下記 URL もしくは QR コードでアクセス可能です。

(会員ポータルサイトではありません)

ログインには、本会会員番号と専門医パスワードが必要です。

<https://www.j-circ.jp/jcscredit/login.asp>



②単位登録確認メールが届きます

単位登録後、学会にご登録頂いているメールアドレスへ登録確認メールが届きます。

このメールがご登録の証明となるため、これまでお渡ししていた紙の「単位登録控え」のお渡しはありません。登録されているメールアドレスは「会員ポータルサイト」で確認可能です。

<http://www.j-circ.or.jp/portal/index.htm>

※必ず、開催前までに会員ポータルサイトに受信可能なメールアドレスが登録されていることをご確認ください。

※①②の記録のみが登録頂いた証明書類となるため、会員ポータルサイトで単位を確認いただくまで大切に保管してください。

学術集会・地方会での専門医研修単位登録について

- 学術集会・地方会での更新に必要な研修単位の取得方法は「専門医カード」によるものです。
- 学術集会・地方会当日、会場の各専門医研修単位登録受付にて先生ご自身でのご登録のお手続きが必要です。
- 会期中に登録を忘れた場合、会期後にプログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付いたしません。

専門医認定更新の手続きについて

更新案内

認定4年目 8月下旬 「単位取得状況通知書」のお届け

認定5年目 10月下旬 「循環器専門医認定更新のご案内」のお届け

更新条件

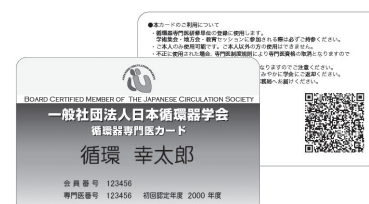
- 1 「更新」の意思表示をしていること
- 2 基本領域の資格を取得していること
- 3 更新に必要な単位を取得していること
(更新に必要な単位数は所定単位表をご確認ください。)
- 4 更新年度までの年会費を納入していること
- 5 認定更新料を納入していること

「循環器専門医カード」再発行のご案内

(専門医の先生へ)

日本循環器学会主催学術集会、地方会には、専門医カードをお持ちください。
専門医カードをお持ち頂くと研修単位登録受付での登録がスムーズです。

紛失等された場合は、下記「循環器専門医カード再発行申請書」をFAX、
郵便、E-mailで、日本循環器学会事務局へご提出ください。



カード再発行の流れ

1. 下記「再発行申請書」に必要事項を記入後、FAX、郵便、E-mail等で事務局へご提出ください。
2. 再発行料(3,000円(税別))の請求書をお届けします。郵便局からお振込ください。
改姓の場合は無料です。申請書内「事務局への連絡事項欄」に改姓のため等理由をご記載ください。
3. 再発行料のご入金を確認後、専門医カードをお届け致します。

発行時期 ※申請書の提出日によって、専門医カードの発行時期が異なります。

申請書提出月切	専門医カード発行時期
12月末	2月下旬
3月末	5月上旬
7月末	9月上旬

ご提出・お問い合わせ：一般社団法人 日本循環器学会 事務局 専門医担当
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F
TEL: 03-5501-0864 FAX: 03-5501-9855 E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

FAX: 03-5501-9855

E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

(一社)日本循環器学会専門医制度委員会 循環器専門医カード再発行申請書

(一社)日本循環器学会

代表理事 殿

標記のカードを紛失致しましたので、下記のとおり再発行を申請致します。

なお、紛失したカードが発見された時には、速やかに学会に届け出を致します。

太枠内はもれなく記入してください

年 月 日

申請者氏名：	会員番号(6桁)：
生年月日：(西暦) 19 年 月 日	
事務局への連絡事項：	

※手続きには再発行料(¥3,000(税別))が必要です。申請書到着後、請求書を送付致します。

カード発行は、ご入金後となりますのでご了承くださいますようお願い申し上げます。

※万一、請求書送付から1ヶ月経過してもご入金確認ができない場合は、本件申込みは失効することと致します。

※再発行料請求書及び循環器専門医カードは、刊行物と同じ送本先へ送付致します。

事務局記入欄

申請受付日	請求書送付	入金確認	送付

地方会・関連学会・研究会情報

【お願い】 各学会情報は、申請された時点の情報を掲載していますので、開催までに情報に変更が生じることがございます。当日参加される場合は、必ず各学会・各地方会・各研究会にて情報をご確認ください。

日本循環器学会地方会情報

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い各地方会の開催予定が、変更となる場合がございます。今後の予定はホームページ、ニュースメール等でご案内いたしますのであわせてご覧ください。

第124回北海道地方会

会 期：2020年12月19日(土)
会 場：札幌医科大学 + Web 開催
会 長：三浦哲嗣(札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝
内分泌内科学講座)

第171回東北地方会

会 期：2020年12月5日(土)
会 場：コラッセふくしま + Web 開催
会 長：竹石恭知(福島県立医科大学 循環器内科学講座)

第258回関東甲信越地方会

会 期：2020年12月12日(土)～14日(月)
会 場：完全 Web 開催(オンデマンド配信、一部 LIVE 配信)
会 長：廣井透雄
(国立国際医療センター病院 循環器内科)

第259回関東甲信越地方会

会 期：2021年2月13日(土)
会 場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会 長：田村功一(横浜市立大学 医学部 循環器・腎
臓・高血圧内科学)

第140回北陸地方会

会 期：2021年1月24日(日)
会 場：Web 開催
会 長：松原隆夫(石川県立中央病院 循環器内科)

第130回近畿地方会

会 期：2020年11月28日(土)
会 場：Web 開催
会 長：中川義久(滋賀医科大学 循環器内科学講座)

第131回近畿地方会

会 期：2021年7月3日(土)
会 場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)
会 長：勝間田敬弘
(大阪医科大学 外科学講座胸部外科学教室)

第117回中国地方会

会 期：2020年12月5日(土)
会 場：Web 開催
会 長：小田 強(鳥根県立中央病院 循環器科)

第117回四国地方会

会 期：2020年12月12日(土)
会 場：Web 開催
会 長：山口 修(愛媛大学 循環器・呼吸器・腎高血
圧内科学講座)

第129回九州地方会

会 期：2020年12月5日(土)
会 場：Web 開催
会 長：筒井裕之(九州大学 循環器内科学)

第130回九州地方会

会 期：2021年6月26日(土)
会 場：琉球大学(沖縄県中頭郡)
会 長：筒井正人(琉球大学 薬理学)

海外学会情報

ESC2021

会 期：2021年8月28日(土)～31日(火)
URL：未定
※会場については、ESC2021 HP 開設後の更新情報をご確認ください。

AHA2021

会 期：2021年11月13日(土)～15日(月)
会 場：ボストン(アメリカ)
URL：未定

研究助成

第31回(2020年度)研究助成等募集のお知らせ

(公財)福田記念医療技術振興財団では、ME を利用した医療技術に関する研究助成を行っております。

4月1日より、次のとおり募集を行います。

公募事業：

①研究助成

- (1)個人研究 1件100万円を限度に、6件
- (2)共同研究 1件200万円を限度に、5件

②国際交流助成

- (1)研究留学 1件100万円を限度に、4件
- (2)国際会議出席 1件30万円を限度に、4件
- (3)海外からの研究者招聘
1件100万円を限度に、4件

③論文表彰(副賞50万円) 2件

応募締切日(当日の消印まで有効)：

①については、2020年4月26日

※終了いたしました。

②については、

前期分2020年4月26日(出発が2020年7月1日から2021年2月28日まで) ※終了いたしました。

後期分2020年12月31日(出発が2021年3月1日から2021年6月30日まで) ※受付中

③については、2020年12月31日 ※受付中

応募方法：財団所定の申請書に記載し、書留で事務局宛に送付してください。

問合先：公益財団法人 福田記念医療技術振興財団事務局

〒113-8570 東京都文京区湯島2丁目31番20号
フクダ電子(株)春木町ビル内

Tel. 03-5684-0288 Fax. 03-5684-0268

<http://www.fukudakinen.or.jp/>

合や期間内に出発の予定が決まらない場合は、取消すこともあります。

応募方法：下記ホームページをご覧ください。

応募期間：2020年10月1日～11月30日(消印有効)

問合せ及び申請書提出先：公益財団法人 日本心臓財団

〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル4階

Tel. 03-5324-0810 Fax. 03-5324-0822

E-mail: shinsei@jhf.or.jp

<http://www.jhf.or.jp/>

日本心臓財団・バイエル薬品 第34回海外留学助成募集要項

助成対象：心臓病・脳卒中・高血圧・動脈硬化症等の循環器領域の研究に携わる研究者

助成額：1件300万円とし原則として10件

応募資格：次の事項のすべてに適合する者

- 1) 初めての海外留学であること
- 2) 40歳未満(1981年4月1日以降生まれ)で日本在住であること
- 3) 1年以上留学し、帰国後日本の学術振興に寄与すること
- 4) 留学先研究機関の責任者または受入者の承諾を得ていること
- 5) 一定の研究業績を有すること
- 6) 2021年4月1日～2022年3月31日の間に出発の予定であること

なお、選考決定後、留学前に留学先を変更した場合

ACLS 講習会情報

●ACLS プロバイダーコース案内

受講料 (初回受講) 34,000円

受講料 (更新受講) 19,000円

※受講要件は ACLS 更新コースと同様です。

受講対象者：原則として医療従事者(医師・看護師・救急救命士など日本国内での医療国家試験有資格者)。なお、臨床経験を有している方が望ましい内容が多く含まれていますので、医療従事者をめざしている学生(医学生、看護学生、薬学部学生など)の受講は原則として認めておりません。

受講申込方法：当会ホームページ「BLS・ACLS 講習会情報」のページからご希望のコースをお選びいただき(詳細：http://itc.j-circ.or.jp/info/info_20200114-1.html)、オンラインフォームにてお申し込みください。以下のコーススケジュールの募集締めきりは延長される場合がございますので、ホームページにてご確認ください。

※2018年11月申込より、ACLS プロバイダー更新は、BLS プロバイダーの有効期限を問わない(有効期限が経過していても良い)といたしました。

申込ページ：http://www.j-circ.jp/jcs_acls/list/course_search.asp



《開催施設所属職員限定》JCS-ITC2020/12/05-06 関東甲信越支部帝京大学板橋キャンパス AHA ACLS プロバイダーコース

日程：2020年12月5日(土)、6日(日)

会場：帝京大学板橋キャンパス

コースディレクター：金子一郎(帝京大学 医学部救急医学講座)

2020年11月4日(水)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406 / Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

《開催施設所属職員限定》JCS-ITC2020/12/19-20 東北支部秋田赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

日程：2020年12月19日(土)、20日(日)

会場：秋田赤十字病院

コースディレクター：藤田康雄(秋田赤十字病院)

2020年11月10日(火)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 東北支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406 / Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcsstohoku@acls-jcs.org

《開催施設所属職員限定》JCS-ITC2020/12/26-27 近畿支部国立循環器病研究センター AHA ACLS プロバイダーコース

日程：2020年12月26日(土)、27日(日)

会場：国立循環器病研究センター

コースディレクター：田原 良雄(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

2020年11月29日(日)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会近畿支部

清水光則・芥野正子

Phone: 06-6229-3456 / Fax: 06-6229-2556

E-mail: jcsitc-kinki@congre.co.jp

JCS-ITC2021/01/23-24 近畿支部国立循環器病研究センター AHA ACLS プロバイダーコース

日程：2021年1月23日(土)、24日(日)

会場：国立循環器病研究センター

コースディレクター：田原良雄(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

2020年12月20日(日)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会近畿支部

清水光則・芥野正子

Phone: 06-6229-3456 / Fax: 06-6229-2556

E-mail: jcsitc-kinki@congre.co.jp

JCS-ITC2021/02/27-28近畿支部国立循環器病研究セ**ンター AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2021年 2月27日(土)、28日(日)

会 場：国立循環器病研究センター

コースディレクター：田原良雄(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

2021年 1月31日(日)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会近畿支部

清水光則・芥野正子

Phone: 06-6229-3456/Fax: 06-6229-2556

E-mail: jcsitc-kinki@congre.co.jp

●ACLS EP プロバイダー資格コース案内

コースの特徴：成人の心停止に対する二次救命処置を ACLS プロバイダーコースを学習した方が、さらにレベルアップするためのコースです。ACLS プロバイダーコースの知識・スキルを習得していることを前提として、心血管系エマージェンシー、心拍再開後ケア、臨床薬理および中毒学、呼吸および代謝のエマージェンシーにどう対応するかをディスカッション形式で学習していきます。

本コースを受講していただくことで、同時に ACLS プロバイダー資格を更新することができます。

受講料：19,000円

受講要件：有効期限内の ACLS プロバイダーカードまたはインストラクターカードを有すること

BLS プロバイダーカード-インストラクターカードの有効期限は問わない

追補 1) 上記カード提示ができない場合は、受講当日であってもコースの受講をお断りすることがございますのでご注意ください。またカードを紛失している場合などは事前に各コースの責任者(コースディレクター)にご連絡ください。なお、受講希望者多数の場合には施設の重複を避けるなど、地域性も考慮して選考させていただきます。

対象者：原則として医療従事者：医師、救急集中治療の経験のある看護師など

追補 1) ACLS プロバイダーとして実際の臨床経験を積んだ方で、心電図や病態の把握ができることが必要になります。

※受講申込については、当会ホームページ「BLS/ACLS 講習会情報」ページよりオンラインフォームにてお申し込みください。

2020年度コメディカルセミナー Web 開催のお知らせ

毎年好評を頂いております日本循環器学会コメディカルセミナーにつきまして、今年度はWebセミナー(オンデマンド配信)で行うことが決定致しました。

Webでの開催につき、これまでは参加が難しかった地域の方にも、ぜひご視聴いただければ幸いです。

日本循環器学会 コメディカルセミナー2020

明日から役に立つ知識をあなたに ～身近にいる循環器病の患者さんと向き合う～

主 催：日本循環器学会チーム医療制度委員会
企画・構成：大手 信之(名古屋市立大学循環器内科)

配 信 期 間：2020年11月1日～2020年12月31日

受 講 料：4,000円

視 聴 方 法：日本循環器学会 Web サイトの「セミナー・講習会」からお申し込みください。

プログラム

演 題	テ ー マ	講師(所属)
講義 1	本当の高血圧診療とは？	土肥 靖明 (名古屋学院大学 リハビリテーション学部)
講義 2	不整脈と言われたら	渡邊 英一 (藤田医科大学 循環器内科)
講義 3	心不全を識り、適切に診断する	瀬尾 由広 (名古屋市立大学 循環器内科学)
講義 4	急性・慢性心不全に対して、どの薬剤をなぜ選択するか？	大西 勝也 (大西ハートクリニック)
講義 5	腫瘍循環器学の夜明け～がん治療に伴う心毒性と血栓症への対応～	山田 博胤 (徳島大学 地域循環器内科学)
共催セミナー 1 (大塚製薬)	心不全患者の再入院を防ぐ	北井 豪 (神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科)
共催セミナー 2 (シーメンスヘルスケア)	被ばく低減における線量最適化を目指す最新技術	富士溪俊之 (シーメンス アドバンスドセラピー事業本部 Cardiology/IR 事業部)

多くの方のご視聴をお待ちしております。

教育映像教材販売のご案内

教育研修部会

下記の教材1タイトルご購入につき、専門医研修単位が3単位加算されます。本体についている返信はがきに必要事項をご記入の上、切手を貼ってご郵送ください。ただし、単位の付加は、ご購入ご本人のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき1回限りの受付となりますのでご了承ください。

※なお、単位申請ハガキの受付には期限があります。詳細は下記の各DVD単位申請期間をご確認ください。

ご購入の申し込みは、日循ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「刊行物購入のご案内」からオンラインでお受けしています。もしくはファックス(03-6368-9509)で、ご希望のタイトル、氏名、会員番号、お届け先住所、電話番号をお書き添えの上、お申込みください。

■循環器教育セッション

※DVD-ROMは家庭用DVDレコーダーでは再生できませんのでご注意ください

※座長所属はセッション開催時のもの。

第45回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,200(税込) 2017年3月17日(金)～19日(日)

単位申請期間：2019年3月31日

※研修単位の申請期間は終了しております。

セッションⅠ

1. 心臓リハビリテーションでの運動療法の主体は有酸素持久運動か筋力トレーニングか？

座長：後藤 葉一(国立循環器病研究センター心臓血管内科・循環器病リハビリテーション部)

2. EVTの進歩とピットフォール—血管外科医の視点から—

座長：大木 隆生(東京慈恵会医科大学外科学講座)

セッションⅡ 成人先天性心疾患の管理

座長：丹羽公一郎(聖路加国際病院心血管センター循環器内科)

赤木 禎治(岡山大学病院成人先天性心疾患センター)

セッションⅢ 突然死の原因となる致死性不整脈に対する診断と治療

座長：池田 隆徳(東邦大学循環器内科学分野)

渡邊 英一(藤田保健衛生大学循環器内科)

第46回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,200(税込) 2018年3月23日(金)～25日(日)

単位申請期限：2020年3月31日(火)

※研修単位の申請期間は終了しております。

セッションⅠ

1. 経カテーテル弁膜症治療のPit fall～私はこうしている～

座長：高山 守正(榊原記念病院 循環器内科)

志水 秀行(慶應義塾大学 外科(心臓血管))

2. PCIの神髄を極める

座長：小林 欣夫(千葉大学 循環器内科学)

安藤 献児(小倉記念病院 循環器内科)

※Ⅱ・Ⅲについては、サブテーマ毎に座長が入れ替わる例年と異なった企画となっております。

セッションⅡ 循環器内科各分野の新しいエビデンスをどう日本で活用していくか①

1. 不整脈

座長：池田 隆徳(東邦大学 循環器内科学)

渡邊 英一(藤田医科大学 循環器内科)

2. 心臓リハビリテーション

座長：増山 理(兵庫医科大学 内科学循環器内科)

元山 貞子(藤田医科大学 循環器内科)

3. 倫 理

座長：尾崎 行男(藤田医科大学 循環器内科)

田邊 健吾(三井記念病院 循環器内科)

セッションⅢ 循環器内科各分野の新しいエビデンスをどう日本で活用していくか②

1. 虚 血

座長：中川 義久(天理よろづ相談所病院 循環器内科)

上妻 謙(帝京大学 循環器内科)

2. 心不全

座長：志賀 剛(東京女子医科大学 循環器内科)

佐藤 直樹(日本医科大学武蔵小杉病院 循環器内科)

3. 高血圧

座長：代田 浩之(順天堂大学 循環器内科学)

赤石 誠(東海大学医学部附属東京病院 循環器内科)



JCS2019

第47回 循環器教育セッション

会場：パシフィコ横浜 国立大ホール 日時：2019年3月29～31日

DVD-ROM発売!!

DVDはインターネット接続環境でご視聴いただけます。

7月
発行予定

価格 **5,200円** (送料、税別)

購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります、単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

<収録内容>

教育セッションI

学会1日目 3月29日(金)

I-1. 経皮的僧帽弁形成術 (MitraClip)

座長:

齋藤 滋 (湘南鎌倉総合病院 循環器内科)
荒井 裕国 (東京医科歯科大学 心臓血管外科)

演者:

天木 誠 (国立循環器病研究センター
心臓血管内科部門心不全科)
大野 洋平 (東海大学 内科学系循環器内科学)

I-2. 先天性心疾患のカテーテル治療

座長:

細川 忍 (徳島赤十字病院 循環器内科)
森野 禎浩 (岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野)

演者:

原 英彦 (東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)
白井 伸一 (小倉記念病院 循環器内科)

教育セッションII

学会2日目 3月30日(土)

II-1. Onco-Cardiology?

知っておくべき癌患者の循環器診療

座長:

前村 浩二 (長崎大学 循環器内科学)
竹石 恭知 (福島県立医科大学 循環器内科学講座)

演者:

赤澤 宏 (東京大学 循環器内科学)
藤田 雅史 (大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科)
山田 典一 (桑名市総合医療センター 循環器内科)

II-2. 心不全診療 Up to Date: 高齢化を考える

座長:

増山 理 (兵庫医科大学 内科学循環器内科)
筒井 裕之 (九州大学 循環器内科学)

演者:

絹川 弘一郎 (富山大学 第二内科)
木原 康樹 (広島大学 循環器内科学)
弓野 大 (ゆみのハートクリニック)

教育セッションIII

学会3日目 3月31日(日)

III-1. 急性心筋梗塞の治療から二次予防まで

座長:

尾崎 行男 (藤田医科大学 循環器内科)
伊刈 裕二 (東海大学 循環器内科学)

演者:

尾崎 行男 (藤田医科大学 循環器内科)
伊藤 浩 (岡山大学 循環器内科学)
宮内 克己 (順天堂大学 循環器内科)

III-2. 最近の不整脈管理

座長:

池田 隆徳 (東邦大学医療センター
大森病院 循環器内科)
志賀 剛 (東京女子医科大学 循環器内科)

演者:

志賀 剛 (東京女子医科大学 循環器内科)
草野 研吾 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
真中 哲之 (浅草ハートクリニック)

※最終的にDVDに収録される内容は演者の先生方のご同意の得られた内容が対象になります。

●動作環境

※本DVD-ROMはDVD-Videoプレイヤーでは再生できません。

セキュリティの観点よりインターネット接続状態のPCでご視聴が可能となります。

Windows

2.33GHz以上のx86互換プロセッサ

512MB以上のRAM (1GB以上推奨)、128MB以上のグラフィックメモリ

プラットフォーム: Windows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10

ブラウザ: 最新バージョンのMicrosoft Internet Explorer、Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Google Chrome、Opera

プラグインソフトウェア: Adobe Flash Player

Macintosh

Intel Core Duo 1.83GHz以上のプロセッサ

512MB以上のRAM (1GB以上推奨)、128MB以上のグラフィックメモリ

プラットフォーム: Mac OS X v10.6以降

ブラウザ: 最新バージョンのSafari、Mozilla Firefox、Google Chrome、Opera

プラグインソフトウェア: Adobe Flash Player

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

0120-046-844

FAX: 03-6368-9509

Mail: jcsdvd@medicalvista.jp

第47回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,200 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」 から、
又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能です。

第47回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2020年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い (要 E-mail アドレス)	
ご住所(ご送付先) 〒		☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先 TEL :	FAX :	
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

JCS_ES47

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

第83回



日本循環器学会学術集会 DVD-ROM発売!!

パシフィコ横浜での講演記録

会期：2019年3月29～31日

購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

これ一枚で**68セッション 274延べ座長・演者、62時間収録!**

DVDはインターネット接続環境でご視聴いただきます。価格 **5,200円** (送料、税込)



<収録内容>

美甘レクチャー	1セッション	国際名誉会員講演 1、2、3	3セッション
真下記念講演	1セッション	特別講演 1、3～12	11セッション
会長講演	1セッション	招聘講演 1～4、6、7、10～18	15セッション
代表理事講演	1セッション	プレナリーセッション 4～7、9～14	10セッション
横浜宣言	1セッション	シンポジウム 3、6～9、14、15、17、18、21、22	11セッション
日本心臓財団50周年記念シンポジウム	1セッション	会長特別企画 5、7、9、10、11、22	6セッション
会長特別講演 2、3	2セッション	トピック 11、15、17、19	4セッション

※本DVD-ROMはDVD-Videoプレイヤーでは再生できません。
セキュリティの観点よりインターネット接続状態のPCでご視聴が可能となります。

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

DVDに収録されている座長・演者名(ご所属)及び演題名もご覧いただけます。

■お問い合わせ先 株式会社 メディカルビスタ
TEL: 0120-046-844 FAX: 03-6368-9509 Mail: jcsdvd@medicalvista.jp

企画著作：一般社団法人 日本循環器学会
〒100-0011 東京都千代田区千代田 1-1-1 帝国ホテルタワー 18F

制作販売受託：株式会社 メディカルビスタ
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-7-35 博多ハイテックビル 5F

第83回日本循環器学会学術集会 DVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,200 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」 から、
又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、
FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能です。

第83回 学術集会DVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2020 年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い (要 E-mail アドレス)	
ご住所(ご送付先) 〒		☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先 TEL :	FAX :	
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

JCS83

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

企画著作 一般社団法人日本循環器学会

制作販売受託 株式会社メディカルビスタ 日循 DVD-ROM 事務局

☎ 0120-046-844 (9:30-18:30) FAX: 03-6368-9509

E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp

事務局からのお知らせ

〈会員ポータルサイトについて〉

皆様の登録情報や年会費お支払い状況、学会集会・地方会などの日程・専門医の取得単位数の確認などを行うことができます。また、ご住所などの変更・留学/帰国申請・専門医自己申告単位の申請等も行えます。

会員ポータルサイトへは、ホームページ <http://www.j-circ.or.jp/> → 会員ポータルサイト からアクセスいただけます。

登録にはメールアドレスが必要となり、会員番号・設定頂いたパスワードでログインしてご利用いただけます。

なお、会員ポータルサイトは利用いただけるブラウザ(インターネット接続ソフト)が限られております。ご了承ください。

PC・Mac：Microsoft Edge, Google Chrome, Firefox, Apple Safari
(Internet Explorer は対応しておりません)

モバイル：Android5以降 Chrome Android スマートフォン・タブレット
iOS11.3以降 Apple Safari iPhone, iPad 等

メールアドレス登録がお済みでない方は、メールアドレス：jcs-portal@j-circ.or.jp よりご連絡をお願いいたします。追ってパスワード設定のメールをお送りいたします。

〈メールアドレス/勤務先(所属医療機関)/ご自宅住所等の届出について〉

学会からのお知らせ・年会費請求書などを確実にお手元にお届けできるよう、随時、メールアドレス/勤務先(所属医療機関)/ご自宅住所等の届出をお願いしております。

会員ポータルサイト(ホームページ <http://www.j-circ.or.jp/> → 会員ポータルサイト)からの変更をお勧めしておりますが、最終ページの「登録事項変更届」もご利用いただけます。

学会活動や医療情報などに関する重要なお知らせをEメールで積極的に発信してまいりますので、Eメールアドレスの登録を是非お願いいたします。

〈会員限定ホームページにつきまして〉

会員限定ホームページは、会員ポータルサイトの開設に伴い統合されております。会員ポータルサイトにログインしご利用ください。

従いまして、UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)の新規ID取得申請は終了いたしました。引き続きUMIN IDはご利用いただけますが、ご利用方法につきましては直接UMINセンターにお願いいたします。

● 学会に関する問い合わせは下記事務局までご連絡ください。

(一社)日本循環器学会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

各業務担当メールアドレス・電話番号のご案内		
	メールアドレス	電話番号
代表(下記のどの担当か不明の場合)	admin@j-circ.or.jp	03-5501-0861
登録事項変更・入会・退会等	jcs-portal@j-circ.or.jp	
Circulation Journal	cj@j-circ.or.jp	03-5501-0863
Circulation Reports	cr@j-circ.or.jp	
地方会	chihokai@j-circ.or.jp	
BLS/ACLS 関連(AHA 心肺蘇生法講習)	itc@j-circ.or.jp	03-5501-0864
IT/Database(JROAD 他)関連	itdatabase@j-circ.or.jp	03-5501-0863
ダイバーシティ	divercity@j-circ.or.jp	03-5501-0861
会員ポータルサイト	jcs-portal@j-circ.or.jp	
ガイドライン関連	jcsGL@j-circ.or.jp	03-5501-0863
学術集会	meeting@j-circ.or.jp	03-5501-0862
各請求書・年会費等	keiri@j-circ.or.jp	03-5501-0863
予防関連	j-yobou@j-circ.or.jp	
禁 煙	nonsmoking@j-circ.or.jp	
専 門 医	senmoni@j-circ.or.jp	03-5501-0864
国際交流	international@j-circ.or.jp	03-5501-0862
国内交流	kokunai@j-circ.or.jp	

FAX(業務共通)

03-5501-9855

ホームページ URL

<http://www.j-circ.or.jp/>

一般社団法人日本循環器学会

登録事項変更届

[会員ポータルサイトからのお届けをお勧めしております]

TEL : 03-5501-0861

FAX : 03-5501-9855

E-mail : jcs-portal@j-circ.or.jp

Web : <http://www.j-circ.or.jp/>

会員番号：	【6桁】	生年月日（西暦）：	年	月	日
フリガナ：					
会員氏名：					
(旧氏名：)					
所属医療機関・勤務先：					
名 称					
部・科					
役 職					
所在地 〒					
代 表 TEL					
内線					
直 通 TEL					
FAX					
旧勤務先名称：					
自 宅： 〒					
TEL					
FAX					
旧自宅住所：					
所属支部：					
※所属支部は勤務先または自宅の所在地から選択いただけます。記載がない場合は勤務先所在地にて登録いたします。					
E-mail：					
変更希望日：			年	月	日
郵便物送付先：			☐ 勤務先 ☐ 自宅		
会告有償冊子送付（年額 1,000 円）： ☐ 希望する ☐ 希望しない					
退 会 届（退会希望者のみ記入）※年会費の未納分がある場合、退会日は納入があった年度の末日となります。					
年 月 日をもって退会します。（退会事由：					
【重要】会員資格喪失に伴う専門医資格の喪失について： ☐ 同意する ※専門医の方はチェック必須					
事務局への通信欄：					

* ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

* メールにおける情報発信を積極的に行ってまいります。メールアドレスの変更・登録を是非お願いいたします。